



## ～サシバが舞い、色鮮やかな芝ざくらでも知られる自然豊かな町～

個性豊かな県内各市町の姿を紹介しているこのページ。今回は、「サシバの里」  
として自然との共生による町おこしを図る市貝町をご紹介します。

芝ざくらの画像が美しい市貝町のホームページを開くと、最上部に掲げられているのが町のキャッチフレーズ

人と自然が響き合い 一人ひとりがはつらつと輝くまち  
～サシバの里を目指して～

です。

八溝山の裾野に広がる里山の豊かな自然に恵まれた市貝町では、自然との共生をテーマに掲げるとともに、その魅力を活かした積極的な町づくり・町おこしを進めてきました。とくに平成22年以降は「サシバの里」をキャッチフレーズとして町内産品をサシバの里ブランドとして産業振興を図るとともに、一方では公園の整備や義務教育終了までの医療費無料化などにより「子育てのしやすい町づくり」「暮らしやすい町づくり」にも真摯に取り組んでいます。

地方創生が叫ばれて久しい今日ですが、全国の市や町は今なお多くの課題に直面しています。市貝町の取り組みも、結果が現れるのは5年先、10年先になるかもしれません。しかし、美しい自然の維持とともに町の発展を実現していこうというその取り組みには、町の内外から大きな期待が寄せられています。

## News

### 町おこし表彰で受賞も

積極的に町おこしに取り組んでいる市貝町では、平成25年度に農林水産省が行っている「豊かなむらづくり全国表彰事業」で観音山梅の里づくり協議会が農林水産大臣賞を受けたのに続き、平成27年にも同省の「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」事業で芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会の取り組みが地域活性化の優良事例として紹介されました。



## 「豊かな自然の息づく町」市貝町



今、町の大きな財産となっているのが、古き良き里地里山の自然です。

人の営みと自然が交わる環境＝里山は、人間と自然の共生を実現するうえで、今、注目を浴びています。市貝町や周辺地域は里山の景観が今なお色濃く残り、それらの環境を利用した農業が営まれてきました。そして小さな丘陵とその間に存在する多数の谷津田では、絶滅危惧種にも指定されたタカの仲間・サシバを始めとするさまざまな生物が生息しています。

町では、平成22年に「サシバの里」ブランドを立ち上げるとともに、平成25年には「市貝町サシバの里づくり基本構想」を掲げ、里山を中心とする自然環境を維持しつつ進める町おこしに取り組んでいます。



幼鳥を目にする機会も

### サシバの里

市貝町の町づくりのシンボルともいえるのが、絶滅が心配され、国の「レッドデータブック」に記載される猛禽類の一種・サシバです。ヘビやカエル、トカゲなどを捕食するサシバは、丈の低い草が生え、見晴らしのよい開けた土地を好み、まさに人の手の入った畑や水田に生息します。その条件にピッタリとはまるのが市貝町や周辺の里山であり、市貝町は世界有数の繁殖地となっています。

町では保全活動に努めると同時にサシバへの関心を喚起すべく、やはりサシバの飛来地として有名な宮古島市と交流を図ったり、町のゆるキャラにそのモチーフを採用するなど、「サシバの里いちがい」の普及を図っています。

### 芝ざくら



自然豊かな市貝町を表すもう一つのシンボルが、芝ざくらです。

町内の芝ざくら公園は、2.4 haの敷地にボランティアの努力により約25万本の芝ざくらが植えられ、その植栽面積としては本州最大級。花期となる4月中旬～5月上旬には赤やピンク、白、紫などの花が咲き誇り、この時期に開催される芝ざくらまつりには、県の内外から多くの人々が訪れます。

### ●芳那の水晶湖

農業用水確保のため造られた人造湖で、芳賀郡と那須郡にまたがり、湖の形状が八角形をしていることから名づけられました。



### ●武者絵の里大畑

300年前に建てられた民家を改装した、国内唯一といわれる武者絵の資料館が開設されており、のぼりや陶器、屏風など、江戸時代より武者絵を描いてきた大畑家の作品が展示されています。



▲制作風景

### ●観音山梅の里

村上城跡の周辺約4haの丘陵地に約3000本の梅が植栽され、毎年3月中～下旬には梅まつりが開催されます。平安中期の作と伝えられる県指定文化財の千手観音像や観音堂もあります。



千手観音堂▶

### ●入野家住宅

江戸時代に名主を務めた入野家の居宅で、1836年から5年をかけて造られた主屋は当時の姿が残り、国の重要文化財にも指定されています。



### ●伊許山園地 キャンプ場

「とちぎの景勝百選」にも選ばれた園内には、多くの広場や展望台が整備され、夏にはキャンプも楽しめます。



### ●道の駅「サシバの里いちがい」

2014年に開設された道の駅。アスパラガスやトマト、苺など町の特産品を販売するほか、イベントを開催したり、飲食店で里山の恵みを味わうこともできます。



### ●市貝温泉(ゆったりランド市貝温泉健康保養センター)

大浴場のほか、葉湯、泡風呂、寝湯など6つのお風呂がそろう温泉施設があります。その他設備も充実し、年齢を問わず楽しめます。



### 市貝町の

### 見どころ



### ●歴史民俗資料館

図書館に併設された郷土史の資料館で、各時代の地域の生活を知ることができる展示のほか、企画展、各種教室・講座も開催しています。

### profile

#### ●市貝町

県の南東部に位置する市貝町は、昭和29年5月に市羽村と小貝村が合併して発足した市貝村を母体に、昭和47年1月1日の町制施行により誕生しました。現在は芳賀町・益子町・茂木町とともに、芳賀郡を構成します。町内には古墳や城跡、古刹などの歴史遺産のほか、武者絵などの伝統工芸や無形民俗文化財の神楽などが残り、充実した歴史と自然を生かした町づくりが進められています。

▶面積：64.25平方km  
▶人口：11,955人(4,365世帯)  
(平成29年4月1日現在)